

# 市役所庁舎建設に関する調査特別委員会報告書

平成28年8月22日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 田原隆雄

平成28年8月22日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	審査結果	備 考
現庁舎建てかえに関する調査研究	継続審査	—

### <報告事項>

- 旧アルファビゼン盗難事件の時効について（庁舎移転担当官）



## 市役所庁舎建設に関する調査特別委員会記録

招集日時	平成28年8月22日（月）		第5回臨時会閉会后	
開議・閉議	午前11時10分	開会 ～	午後12時07分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	田原隆雄	副委員長	石原和人
	委員	山本恒道		尾川直行
		橋本逸夫		津島 誠
		掛谷 繁		守井秀龍
		川崎輝通		立川 茂
		西上徳一		山本 成
		森本洋子		星野和也
欠席委員		田口健作		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鶴川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	総合政策部長	佐藤行弘	庁舎移転担当官	尾野田瑞穂
	庁舎移転担当官	平田惣己治		
傍聴者	報道関係	山陽新聞	朝日新聞	読売新聞
		NHK		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

## 午前11時10分 開会

○**田原委員長** ただいまの出席は14名です。定足数に達しておりますので、ただいまから市役所庁舎建設に関する調査特別委員会を開会します。

冒頭申し上げますが、本日は岡山市議会議長会の関係の研修があります。そういうことで、できるだけスムーズな運営を行い、休憩はせず、12時10分ぐらいまでを一つめどとして会議を進めていきたいと思っておりますので、御了解をお願いしたいと思っております。

審議に入ります前に、委員長として皆さんに御報告をさせていただきたいと思っております。

庁舎問題については、7月20日に片上地区自治会連絡協議会会長、また同日、東片上の大東地区町内会長及び塩谷地区町内会長からの要望も出ています。備前市議会のルールでは、要望書は議会に通常、付議しておりませんが、市庁舎の建設という重大な問題でありますし、特別委員会が設置されているということから、あらかじめ要望者に要望趣旨をお聞きしたいということで、この委員会への出席をお願いしたかったが、日程的なことなどもあり、去る金曜日に双方の要望者の出席を議長室においていただき、要望趣旨をお聞きしたいということで話し合いをさせていただきました。

残念ながら、片上地区自治会連絡協議会からは、当日になって欠席ということで、出席をいただけませんでした。大東地区、塩谷地区からは3名の方に出席いただいて、いろいろ話をお聞きいたしました。そういう中での問題をお手元へ資料として配付させていただいておりますので、ごらん願いたいと思っております。

そこで、委員長として執行部に猛省をお願いしたいのが、6月10日に要望書が大東地区町内会、塩谷地区から6月10日に市長宛てに出ています。そして、7月25日に市庁舎移転新築についての回答ということで答弁をしていますが、その答弁の中で、7月7日に開催した市議会の市庁舎建設に関する調査特別委員会において、新庁舎位置を現在地に決定したから、もう東片上地区の意見は聞きませんというような回答をしているわけです。

こういうような要望があるのであれば、なぜ7月7日の委員会に、こういう要望が来ているということを言わなかったのか。こういうものがあれば、前回現在地で建てかえをしましょうというような形を皆さんで、取りまとめを委員長としてしました。こういう情報を議会に知らせないというのは、非常に迷惑です。皆さんどう思われますか。あのときも、全員が賛成ではなかった。今ここで何も庁舎の位置を現在地で建てかえましょうということを決める必要はないのではないかという意見まで出たわけです。こういう問題があるなら、そのときに皆さんに教えてもらえば、決定が変わっていたかもわからない。そして、議会で決まったから、東片上についての審議はしないというような回答をあなたたちは地区にしているわけ。大変遺憾であります。

〔「執行部の答弁を求めな」と呼ぶ者あり〕

執行部の答弁を求めます。

○**佐藤総合政策部長** 今、委員長からお話をいただいた件についてですが、7月7日に開催した

市議会のくだりについては、これがあるから、もうほかの位置については検討しないということではなく、こういったこともありましたということを示し添えているというふうに私は理解しています。これがあるから、もうほかのところへ移転するのは検討しないということではないということです。

それから、要望書が出ているという件を前回7月7日に報告しなかったということですが、確かにこの件についてこちらからの発言はしていませんが、こちらから情報提供しないということではなく、その件については、たしかほかのところで、こういう要望書も出ているという話はさせていただいたことがあるように思います。そこらあたり私も記憶があやふやですが、以上でございます。

**○田原委員長** 今後、こういうことのないようにしてください。

議会内閣制ではありませんが、委員長としては、何とか委員会を前向きに進めたいということで、あなたたちの作業がしよいという形で、前回の委員会で、強引と言われるぐらいまで現在地へ建てかえることを決定したわけです。そういう趣旨に対して、ちゃんと謙虚に対応してもらわないと、今後運営がしにくい。今さら、前回、現在地で建てかえるということを皆さんで一応方針を決めたから、それをここでひっくり返すということはないが、その辺は大東の皆さん方にも理解はしてもらいましたが、そういうつまらないちょっとしたことで住民感情が非常にもつれるので、片上地区自治会連絡協議会さんも片上地区15町内会全てが賛成してこの要望書を出したわけではありませんということで、新聞報道についての抗議も何かされているように聞いていますが、デリケートな問題で、市内がうまくこの庁舎が進むように私たちもしたいと思うので、その辺しっかり気をつけてください。

**○佐藤総合政策部長** できるだけ情報については、こちらから提供できるものがあれば提供させていただきたいと思います。

**○田原委員長** 副委員長、何か補足することがあれば。

**○石原副委員長** 去る8月19日金曜日でしたが、先ほどあったように3名の市民の方、地区長初めおいでになられて、面談といたしますか、お話をお聞きしました。

そのときに市民の方々もおっしゃっていたのが、要望書を提出する時期を逸しておったというようなこと、もう少し早く地区としても要望、思いをお伝えできればよかったということも、反省も含めて顧みられていました。そういう中で、市民の方、御発言があったのは、国立競技場の例も挙げられ、一旦設計段階まで進んでいた建物、施設が白紙撤回に戻された経緯のこともおっしゃっておられ、地区住民の方としては、一縷の望みももって見届けておられるというところです。

そういう中で、合併特例債の期限、それから7月7日のこの委員会でのある程度意思表示というところもお伝えをしながら、市民の方も今のところは冷静にといたしますか、備前市にとって最善の方策を委員会でも御検討いただきたいというところでした。

添付されている資料にも、御丁寧に現庁舎の場合とそれから要望されている東片上用地の場合の比較検討資料も添付されておられ、しっかり真剣に考えておられるということを感じました。それから、あくまで今回は東片上からの御要望でしたが、ある一部の地区に我々議員、議会側も傾注することなく、公平に見きわめて議論していかないといけないということを当日感じたところです。

**○田原委員長** そういう経緯があったということをもまず冒頭皆さんにお話をして、前回、現在地で建てかえるということを一応まとめました、意見として、この委員会として。そういうことでよろしいですね。それを再確認して議論に入りたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

現在地での建設ということで、委員会としてはまとまったということによろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はい、わかりました。

それでは、本日執行部から資料が出ていますので、資料説明から入りたいと思います。

**○尾野田庁舎移転担当官** 説明の前に、前回現庁舎の駐車場の数をということで、それを先に御報告させていただきます。

まず、今ある旧館の前です。新館と旧館の間に挟まれているところの駐車場の台数が22台。保健センターの前が14台。福祉事務所の東側が29台。あと福祉事務所と道路との間に2台置けますので、合わせて67台が現在来客用の駐車場となっています。

続きまして、今お配りしている資料について説明させていただきます。

まず、配置図をごらんください。

今考えている案ですが、まず本庁舎の旧館、これを取り壊すと。1番目に旧館のみを取り壊すというふうに考えています。取り壊した後に、新庁舎の西棟ということで、これ6階建てを考えていますが、こちらを建てると。この西棟が完成したら、引っ越しを行って、次に保健センター、車庫、物置等がありますが、これを取り壊すと。こちらに東棟を建てるということを考えています。東棟が完成したら、こちらにも引っ越しを行った後、現庁舎の新館と裏の分庁舎などを取り壊して、駐車場等の附帯工事を行う予定としています。

この期間が、約2年かかることと想定しています。

〔「口頭だけ、説明は」と呼ぶ者あり〕

〔「これには何も書いてないの」と呼ぶ者あり〕

それには書いていないです。

次に、お配りしている平面図をごらんください。

平面図は7枚あります。新庁舎の配置についてですが、新庁舎は備前らしさを感じられる庁舎、市民に優しく親しみやすい庁舎、市民に開かれた交流の拠点となる庁舎となるような市役所にしていきたいと考えています。

各部署の配置について、市民に優しく親しみやすいようになるようにということで、まず1階には市民生活部、保健福祉部の窓口業務の多い部署を配置するように考えています。また、市民に開かれた、市民が傍聴しやすいというような考えから、1階に議場を考えています。次に、2階ですが、保健福祉部で窓口業務が多い部署で1階に配置できなかったものを置くように考えています。あわせて、教育委員会を東棟に考えています。次に、3階ですが、市民生活部と保健福祉部の残りの部署を置くように考えています。また、東棟には大会議室を設け、ここは市民交流の拠点となるように多目的に使うことを考えています。次に、4階ですが、まちづくり部と総合政策部のうち企画課のICTまちづくり係を配置するように考えています。次に、5階ですが、市長室、副市長室と秘書広報課、危機管理課などの市長室及び総合政策部を置くような形に考えています。次に、6階ですが、議場を除く議会関係の部屋と、監査事務局、選挙管理委員会事務局を置くように考えています。また、屋上には、太陽光発電ができるような施設を考えています。

以上が現在考えている各部署の配置です。

次に、今後のスケジュールですが、お配りしているスケジュール表をごらんください。

まず、9月定例会で、庁舎建設のための予算を計上させていただきたいと考えています。予算には、基本設計、実施設計の委託料と、それに関する事務費を考えています。補正予算の御承認をいただけましたら、設計業者の選定に入りたいと考えています。来年1月ごろには設計業者を決定したいと考えています。設計業者には基本設計と実施設計を一括で発注したいと考えています。設計の期間は、約1年を考えています。実施設計が完了したら、平成31年度、32年度の2年間で庁舎の建設をしていきたいと考えています。

また、工事期間中の仮庁舎についてですが、現庁舎をなるべく残すというような考えで新庁舎を建設するように考えているので、現庁舎の中でやりくりできないかということは今現在考えているところです。どうしても仮庁舎が必要となった場合には、旧アルファビゼンの一部を仮庁舎として使用することも検討しなければならないかなと考えています。仮庁舎の予算については、この検討結果がまとめ次第、予算要求をさせていただきたいと考えています。

以上が現時点での新庁舎の計画案です。

**○田原委員長** 前段の目的とか口頭で言われたが、それも文書で出してください、わかりやすいように。

それでは、質疑に入りたいと思います。

**○橋本委員** 今、委員長が言われたんですけども、説明を項目ごとに分けて、順を追って、これを何月ごろやりたいというタイムスケジュールを、ぜひ我々に提示してほしいんです。口頭でというようなことじゃなくて、よろしくお願いをしたいんですが。

**○尾野田庁舎移転担当官** タイムスケジュールをとということでございますけども、これ今の時点では大まかな予定になりますので、それがお示ししてもそのとおりになるかどうかはわからない

ということでございますので。

**○橋本委員** そういう注釈をつけた上で結構ですので、先ほど言葉ではあっと説明するんじゃないかと。それにどういうことで変更が生じるかわかりませんという注釈を加えとったらええわけですから、ぜひお願いしたいんです。

**○尾野田庁舎移転担当官** それでは、今私が言葉で申しましたことを文書にしてお渡しするような形にしたいと思います。

**○田原委員長** 建設のコンセプトも文書で示してください。

**○橋本委員** 引き続き、今度の9月定例で補正予算を計上するという中で、今までは新庁舎の分については、今度は基本設計に詳細設計、実施設計もあわせてやるということですか。何で、まずは基本設計で議会に示さんののか、一気に詳細設計までひっくるめて予算をとろうとされるのか、理由は。

**○尾野田庁舎移転担当官** 一括で発注ということなんですけども、これ日程的にかなり厳しくなっていておきます。ということで、一旦基本設計をつくって、また詳細設計を別の業者ということになりましたら、その間時間をとられますので、一括で出して、基本設計ができた時点で、またお示しするという形で、引き続き詳細設計もしていきたいというふうには考えております。

**○橋本委員** 確かに、早く早くというのはようわかるんです。要望書にも早期にというふう書いてあります。ならば、臨時議会なんかもあるわけですから、きょうのように。そのときに補正予算案を出して、基本設計、これ認めてくださいと。我々も6月議会で修正したときには、これは分けられんから一括して落としますけれども、新庁舎の分については何ら異議がないんじゃないと。だから、それについては早く出してくださいと言うとったわけですから、何でそれに、臨時会ででも対応しようという積極的な考え方がなかったのかどうか。ちょっと残念に思います。

**○尾野田庁舎移転担当官** 6月議会で予算が修正されましたけども、それに基づいていろんな案を考えてきました。できれば今回の臨時議会で予算等が上げられればよかったんですけども、ちょっと間に合わなかったということで、9月議会をお願いしたいというふうに考えております。

**○橋本委員** 間に合わなかったというて、一般会計で新庁舎の基本設計で3,500万円計上すれば、もうことは簡単に済んだと思うんですけども、6,000万円の配分が極めて難しかったということですか。

**○尾野田庁舎移転担当官** 配分が難しかったというよりも、やはり今までと方針がちょっと変わったので、それで検討し直したと。執行部でプロジェクトチームをつくって、その辺を検討してきたということで、その辺時間がなくて、今回は上げられなかったということです。

**○橋本委員** それから、さっきの説明によると、まだ仮庁舎として一部旧アルファビゼンの建物を活用したいやな、そういうふうな意向を言われたと思うんですけど、それがだめだということで本会議で予算案が修正されたんですから、いまだにそんなことを思いよるっちゃうのは、どうも私は心外なんですけれども。説明員の方々はやはり旧アルファビゼンを仮庁舎として整備した



いと思っておられるんですか。

○佐藤総合政策部長 仮庁舎がどうしても必要だということになったら、アルファビゼンもその候補の一つであると考えているということでございまして、必ずあそこを使うということが、今の現段階でそうしたいという意向であるということではございません。どうしても使いたいということになったら、そこも考えなきゃいけないということでございます。

○掛谷委員 1つは、新しい案ができましたけど、床面積が以前6,000平米と言いつたですけど、それがまた膨らんだんではないかなと。

それから、駐車場が今67台ということ、これは来客用ということなんですけども、これは新しくなったときには、どういう、何台になるんかというのがはっきりしてないと思います。それによっては、ちょっと考えないと。

最後に、予算が膨らむんじゃないかなと思うんですけど、どの程度にお考えなのか、その3点。

○尾野田庁舎移転担当官 前から申し上げているのは約7,000平米ということだったと思いますが、今回お示ししている案でございまして、7,100平米ぐらいです。

駐車場の台数でございまして、今考えておりますのが、新庁舎の東棟の前と、東側です。こちらで約50台はとめられるんじゃないかと考えております。それから、西棟の西側、今ある新館のほうです。こちらのほうに約34台とめられると考えております。あと、裏の分庁舎を取り壊した後に駐車場として約16台、合わせて100台を考えております。

それから、予算についてであります。正確な数字は設計事務所に発注してからという形になりますけども、約30億円程度でできるようにしたいと考えております。

○川崎委員 仮庁舎問題で議論する中で、できるだけ仮庁舎をつくらなくて経費削減でやろうという努力が見えるんですけども、西棟の新庁舎を建てるに当たって、1階から3階まで全部執務室で使っていますよね、各課がたしか。それはどこへ行く予定かということが全然説明なかったんで、どう考えておるんですか。

○尾野田庁舎移転担当官 旧館のほうを一番に取り壊すというふうに考えておりますので、ここに入っている部署をどこかにという考えになってきます。旧館に入っております大きなものが税務課とか会計課などは窓口業務になりますので、これは本庁舎から外すわけにはいかないというふうには考えております。今考えておりますのは、新館の2階、今のまちづくり部が入っているところに動かすのがいいんじゃないかというふうな感じで。

もし、仮庁舎で外に出すことになりましたら、基幹系のコンピューターがつながっているところは今の庁舎から出すわけにはいかないんで、その辺がつながってない部署を考えております。今の中でやりくりして、今の残っている庁舎で、なるべくならもう仮庁舎をつくらなくて済むような形で配置ができないかなということ、今検討してるところでございまして。

○川崎委員 何となくわかったようなわからないんですけど、コンピューター関係がつながって

いる部署は残して、出ても自由に業務ができる課をよそへ出すという考え方は理解できました。

それで、前6月のときも議論したと思いますけど、旧日生、吉永、それから坂根も結構議会室を含めてあいていて、独立した業務なら十分できるんじゃないかという考え方を持っています。だから、私はあそこぐらいに議会を移すのが一番ええんかなと思ったりしたんですけど、この案では一番にやるということですけど。

やはり、そういう努力をすれば、坂根はどうか知りませんが、吉永も日生もここの中央コンピュータとつながってんでしょ。何かいろいろ納税証明じゃ、何やかんやというたらみんな出てきますから。ですから、そこらは努力していただいたら、1階が税務課、2階が秘書関係、3階は入札関係でしたか、そのぐらいは十分に分庁舎というんですか、日生、吉永に分割すればいいんじゃないんかなと。余り仮庁舎などということを考えん努力をしとんじやったら、徹底して考えていただいて、蒸し返しのようなアルファを出すなどと言ったら、本当にそれが問題で否決されているわけでしょう。だから、そういうことをしないで、ぜひやっていただいたら。

この裏の元教育委員会がおられたところ、それから今の教育委員会も詰めればもう少し、何かあいているようなことを言っていたような気がするんで、そういう努力については、次回を出していただいて、どうしてもまだ仮庁舎建てないといけない、やはりそこははっきり線を引くべきじゃないですか。もう既存施設をフルにすれば、仮庁舎は必要ないんだというぐらい、もうここまで来とんやからはっきりして、そういうレベルの議論はせずに、より新庁舎の中身で市民が使いやすい、職員が使いやすい、21世紀を十分担える新庁舎だというようなことで、前向きにやっていただきたいと思うんですけど。どうしてもそういう仮庁舎が必要ならというような、消極的ななんか積極的ななんかわからんような議論はやめていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

**○尾野田庁舎移転担当官** 委員さんの御意見もよくわかりますんで、なるべくなら今あるものの中でおさめるような形を考えたいというふうに思います。

**○掛谷委員** 一つだけ、配置で疑問だということで提案をさせてもらいますけれども、1階に議場をつくと、それはそれでいいんでしょうけれど、議員の控室も含めて議会事務局が6階に。これは普通ないですよ。これはちょっといかなもんかなと思うんで、この配置についてはなかなか賛同できにくいかなと思っています。どういう理由でばらばらになっているんか。1階に持ってくるというのはわかるんですが、どうしてこうばらばらになったんか教えていただければと思います。

**○尾野田庁舎移転担当官** 1階と6階とばらばらになっているということなんですけど、確かにそういう図面になっております。今回御提示しましたこの案につきましては、議場が1階にあれば、市民の皆さんが寄ったときにすぐ傍聴できるのではないかと、そういうことも考えまして、議場のみを1階というような案で提出させていただいております。

**○掛谷委員** それはわかるんです。意見の相違かわかりませんが、長い歴史を今度、新しく、

新館というか新しい建物ができたら、50年、60年使ったときに、傍聴来てくださいと言っても、使い勝手がいいというのは、我々議員や、それから事務局やこういう人たちがもう恐らく80%、90%の利用をするわけです、現実には。こういった議会では傍聴に來られて、それはいいんでしょうけれど、しっかりその辺は考えていただきたいと思っております。

**○尾川委員** どこまでこの図面で意見を申し上げればいいのかというのはわからんけど、今の議場の問題とか、もう少し検討してほしいというのはあるんです。

というのは、危機管理課とか、それからまちづくりのまち整備課なんかが4階でしょ。上下水道課も結構市民が出入りするところなので、エレベーターがあるとはいえ、やはり1階とか、もう少し下の階にして、入りやすいと。議場が市民に開かれた、傍聴しやすいというて配慮していただいとんのは非常に感謝するんですけども、また控室とか議会事務局が別にあったりするという問題もあると思うんで。大会議室がどういう意味でここへなっとんかという、そういったことを、3階に大会議室があつてということがあるんですけど、そのあたりと、まちづくりのスペースとか、いろんな組みかえをね。そうすると要は組織が変わるんじゃから、その組織がえの想定もある程度して、本当に今の組織の範疇というか、部署別の分かれがスムーズに行きよんかどうかというのを、この機会に検討してほしいと思うんですけど。

これ、誰が考えて、設計を出されとんかわかりませんが、どういう発想か。そういうことを言うわけ、意見として。

**○尾野田庁舎移転担当官** 今の危機管理とかまち整備課とか、この辺もお客さんが多いということで、下の階のほうがいいんじゃないかという御意見でございました。その辺も参考にさせて、今後案をつくっていきたいとは思っています。

一応、今回私どもが考えておりますのが、なるべく今ある庁舎の中で業務をしつつ新庁舎を建てたいという考えでおりますので、まず西棟を先につくって、そちらに入れる部署を入れていくということになりますので、東棟がどうしても外にある部署、教育委員会とか上下水道課とか、その辺の配置になってくると思います。それをしないと、一旦西棟に入って、また東棟のほうへ移動、こういう部署も少しは出てくると思います。でも、なるべくそういうことを少なくしたいというふうな考えで、今回こういう案を提案させていただいております。

**○山本（恒）委員** もうみんな誰が見ても日本で初めて、珍しいんかも、1階に議場を置いたらええんかもわからんけど、こないな1年に一月ほどしか使わんようなもんを、こんな広えスペースで遊ばすより、もうちったあ、それこそ子供がすぐ入れるようにせなんだら。平生1階を全部そんな控室じゃ、委員会室じゃというてとつとんならええけど、一個だけで。へえで、全部担当は上のほうへおりますというてもうちちょっと当たり前のことをせなんだら、ある程度常識のある線で職員はやってくれなんだらいけんわ。

**○尾野田庁舎移転担当官** 今回、1階に議場をという案なんですけども、先進地がありまして、新潟県の長岡市がこういう形をしております。長岡市では市民協働と交流の拠点という位置づけ

で新庁舎を計画しております、その中で1階に議場をというような形でやっております。議場を1階に配置することによって、市民の行き来とかという、傍聴者も以前に比べてふえているというようなことを聞きましたので、今回1階を議場にという提案させていただいております。

**○川崎委員** ちょっと追加で、やはり使用頻度に応じて1階か2階というのは、市民の使用頻度に応じて、そういう課を1階から持っていくべきで、さっきから出るように、議会というのは定例4回ですか、4回入れても、議員中心に、傍聴者入れても、その議場を使う人は議員プラス職員と傍聴者入れたってしれた数なんですから、やはりそういう使用頻度からいえば当然6階であろうし、6階で、我々の要望としては、少し天井を高くするために6階だったら、もう上は屋上だから工事もしやすいけど、1階だったら次の2階のところへもし議場、これよりもう1メートルか2メートル上げえと言ったら、そこだけ特別な工事して、その2階の上の部屋が使いにくくなるでしょ。そういう物理的というんか、構造上の問題も出てくると思うんで、ちゃんと6階ぐらいで、ほかの委員会室と議会事務局が全部6階なんだったら、我々も議会事務局も議場からすぐ行ったり来たりできるところがないと、それは大変ですよ、いろんな業務。それでなくても委員会が燃えたりしたら、右往左往で職員は大変でしょうから。

じゃから、6階に持っていくことで反対だという委員はおらんと思うんで、できれば少し天井を高うして、しっかり傍聴者が来ても圧迫感のない、和やかな雰囲気のできるような議場に、6階だったらできるんじゃないかなということは要望しとくんで、ぜひこれは考慮していただきたいと思いますけど、いかがでしょうか。

**○尾野田庁舎移転担当官** 6階に議会関係の部屋をまとめてという御意見だと思うんですけど、その辺も私どもとすれば1階がいいんじゃないかという提案なんですけども、その辺も今後検討してまいりたいと思います。

**○川崎委員** いいんじゃないかと言うて、気持ちはわかるけど、構造上問題が出てくるでしょう。2階が使いにくくなる。1階に地下掘ってわざわざ天井を高うするんですか、そしたら、議場の下だけ。そういうことがこんな6階建て建てるような建物で構造上可能なんかというのは、素人でよくわかりませんが。6階なら屋上を少し議場の天井だけ特別に高うしたって、誰も文句言う人いないでしょ。おてんとうさまが文句言うだけでしょ。だから、そういう基本的なことが何か抜けて議論しよるにしか思えんで、そんなことしよったら、ますます我々の要望で少し今のこの空間よりも何メートル上げてくださいと言ったら、大変な特別工事になるわけでしょう、1階だと。違いますか。それについての反論がないじゃないですか、答弁してください。

**○尾野田庁舎移転担当官** 1階に持ってきたとき、構造的なものにつきましては、今後設計事務所に出して、それがどういう形になるかということにはなるとは思いますけど、先ほども申しましたように、私どもとしたら1階がいいんじゃないかという御提案なので、その辺ということでございます。

**○橋本委員** もう無理なんじゃって。私、長岡市も見とんの。1階に議場があるの見とる。物す

ごい天井高いの。ここは一般配置見たら、2階には社会福祉課や子育て支援課や、そんなんを配置しとるでしょう。こんな構造にはならん。だから、ここにおるもうほとんど100%の者がそれは1階に議場を持っていくのはあかんて言いよんじゃから、ええかげんに引っ込められ。私はそう思うよ。もし引っ込めんのだったら、特別委員会で決議してほしいわ、そんなもん。

**○川崎委員** もう一言だけ。

大会議室も同じで、3階に持ってきとんのは、4階が屋上じゃから、大会議室だったら当然こういうふうには柱が途中に入らないわけでしょう。この図面だけでは何か3階にも柱があるようなこと書いとるけど、真ん中の柱がない構造上ということになると、少し天井を強化して、屋上だから荷重がかからんから、そういうことも経費が安くてできるから、3階に大会議室を持ってきとるわけでしょう。やはりその考え方というのは、議場に関しても、柱があるわけないでしょう、途中で、絶対に。ということになりや、もう6階しか考えられませんよ。議会事務局なりほかの委員会室がそこならね。それが4階なら4階で可能でしょうけど、そうすると5階、6階に矛盾が出てくるわけだから。やはり天井のところ、天井を高うすとか、柱を抜きにして構造上安くできるという精神が抜けていますよ、何か。

**○田原委員長** 技術担当の平田担当官にお尋ねいたします。

今の議員の発言について、どのように。

**○平田庁舎移転担当官** この絵の中で構造的なものを詳細に検討しているわけではないんですけども、こちらとして考えておりますのは、議場も若干天井を低くして、逆に1階のフロア全体は天井高を幾らか高くしておさまるようにと。先ほどお話にありましたけど、長岡市などは確かに非常に高い天井で特殊なデザインになっていますけど、その一方で真庭市などは非常に天井が低くて、床もフラットで、ちょっとした会議室といったような感じの雰囲気のものになっておまして、どちらかというところとそうしたものをイメージして、何とか入るんではないかという考えのもとに、議場の1階の配置というものを考えたものでございます。

技術的に可能かどうかは別にして、いろいろと御意見いただいておりますので、そこらあたりも考えの分かれるところだとは思いますが、1階に議場を置くのか、市民サービスの窓口にするのか、その辺はこれからの検討課題ということで、しっかり我々なりに検討したいと思います。

**○尾川委員** その関連ですけど、ようなかなか意見出されとって、それを引っ込むというわけにはいかんと思うんですけど、関連施設があるのに、高さ、今言う真庭市はそんなに高うねえです。そりゃあ今頃はそんなに高うする必要ねえかもわからんけど、16人しかおらんやから。ただ、議会事務局のほうで作業しやすい、あるいは職員が作業しやすいように、仕事中心に配置というか、施設の配置というのを考えていかんと。執行部のメンツもあろうし、ここら1階にする趣旨をようわかって、1階を背を高うして、ホールもあるし、ようわかるんですけど、その辺は頭をやわらこうして、議会事務局に聞いてもろうたりしてから、もう少し弾力的な設計を考えて

もらって。ただ、議員ですから議場のことを言いよるけど、ほかのことももう少し部署に聞いたり、よう意見をとりながら詳細設計をやってほしいと思いますけど。

○平田庁舎移転担当官 御意見ごもっともだと思います。

やはり議場と事務局関係が分かれてしまうというのは、確かにおっしゃられるとおり課題でございますが、我々が参考にした長岡市などは、1階に議場を置きながら事務局関係は4階に置いているというような状況でずっとやっているようでございますから、そうしたことも参考にした上で、我々なりの案を考えたというものでございます。

必ずしもこれでないといけないということではないので、御意見を踏まえた上で、しっかり検討はしたいというように思います。

○田原委員長 きょうは初めて見せていただいたんですが、議会側から結構意見があるわけで、これをあくまでもというように形で突っ張らないように、必要であれば再度、再々委員会も開きますので、ただ一点、ちょっとかわって意見を言わせていただきたいと思います。

委員長かわります。

〔委員長交代〕

○石原副委員長 委員長職を交代します。

○田原委員長 案を示していただいて、仮庁舎のことからいろいろ考えていただいて、それは敬意を表しますが、この間東片上の人たちから言われた耐震化の問題、それからこの地域の海拔の問題、前回も1階のGLを高くしますというようなことが前回の案だったはずですが。今回このような形で、現在の建物を残したままこれをするという場合に、1階のGLをどこに考えておるのかというようなことについて、きょう質問がないんで、平面だけの説明なんで。立面のこともあるんで、とにかく余りこだわらずに、もう少し柔軟に対応していただきたいなという要望をしておきたいと思います。

海拔の件はどうですか。

○尾野田庁舎移転担当官 以前の案では1.8メートル上げるということでしたけども、平成2年に実際ここがつかったという実績があります。その辺の実績を加味しながら、高さについては考えたいと思っております。

○田原委員長 その辺も考慮して、とにかく議会も議論に参加するんだから、押しつけじゃなしに、お互いに話し合いしましょうや。そして、少しでもいいものをつくっていくという努力をお願いして、委員会を閉会したいと思います。何か。

どうぞ。

○尾野田庁舎移転担当官 先ほどアルファの件が、仮庁舎は皆さんはだめですよという話だったんですが、アルファの盗難事件の時効についてなんですけども、これがこのまま犯人が捕まらなければなんですけども、平成29年1月25日が時効になりますよということを警察のほうから聞きましたので、御報告させていただきます。

〔「それは百条委員会で言やあええことだろ」と呼ぶ者あり〕

○田原委員長 違うよ、それは。今まで警察が言うとしたんと。それ大問題よ。

〔「この委員会で何か関係あるのかな」と呼ぶ者あり〕

〔「百条でやるでしょ」と呼ぶ者あり〕

そやけど、今まであなたたちが時効は何日だというて、警察が言うとするのを報告受けとんのは、この日にちじゃなかったよ。あと2年あったよ。31年10月1日じゃなかったか。こんな重大なことは、そらこれ重大問題よ。先ほどの特別委員会にしたって、もっとゆっくりせえというような話やったのに、こんな重大なことを、大変な話や。

○佐藤総合政策部長 先ほどアルファビゼンの盗難事件の時効についてということですが、この件については、警察署のほうからお話をお聞きしまして、報告させていただいたわけです。

今まではどういうふうに執行部側から御報告させていただいていたか、いつが時効ですというふうに報告させていただいていたかまでは、私も確認していないんですけども、要はある程度の期間をもって、ここからここまでの日にちの間にとられたということであれば、その初めの日から起算するんだということをお聞きしました。これは重大な案件ですので、一刻も早く御報告させていただいたほうがいいだろうということで、この委員会とはちょっと趣旨が違うんですけども、あえて御報告させていただいたところでございます。

〔「本庁舎の問題だから、一旦終わって……」と呼ぶ者あり〕

〔「この委員会とは関係ない」と呼ぶ者あり〕

○田原委員長 いやいや、大事な。関係ないけどな。

〔「一旦終わって、報告がありますというて言やあええんじゃ」と呼ぶ者あり〕

〔「総務じゃろ」と呼ぶ者あり〕

〔「どうしても言いたいんじゃと。そうせな、一旦終わらにやあ」と呼ぶ者あり〕

〔「よろしい」と呼ぶ者あり〕

〔「一旦終わられえ」と呼ぶ者あり〕

感謝します。終わります。

○石原副委員長 副委員長に戻ります。

〔委員長交代〕

○田原委員長 委員長に復帰しました。

○石原副委員長 濟いません。次の9月議会で補正予算も計上されて、その定例会期中にもしっかり審議ができるんかとは思んですけど、きょういただいて、仮庁舎のスケジュールもしっかり明記された形で載ってますんで、仮庁舎のところはどうしてもデリケートになるんですが、じゃあ実際に次の議会で設計費計上されて、仮に予算が認められた後、進んでいく場合に、仮庁舎

が必要か否か、それからどれぐらい必要なのかということが明らかになるのは、どれぐらいのタイミングで捉えておけばいいのでしょうか。

〔「はっきりさせてよ。変わるばあしたらおえんで」と呼ぶ者あり〕

○尾野田庁舎移転担当官 時期につきましては、今回、じゃあいつまでという話は難しいので、ちょっと検討させてください。

○石原副委員長 とにかく、今回はこういう形で、直前の特別委員会できょうある程度の資料の提示もいただけたということで、前回までのいきなりという形からはかなり前進しとんかなという思いでおりますんで、これからの庁舎整備についても、適宜適切な資料提示を求めて、きょうのところは要望で終わります。

○田原委員長 以上で委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午後0時07分 閉会